

市民が来庁せずに申請できる電子申請サービスの利用状況は

武藤 政義 議員

質問 インターネットを利用することにより市民が来庁せずに申請することができる電子申請サービスを実施しているが、利用状況は。

市長 平成 22 年度は 10 の手続きのうち 6 の手続きで 381 件で、大部分がスポーツ講座である。年度別で 2 2 年度が増加しているのは携帯電話の申請による追加機能の成果が出たもので、今後とも利用促進や申請手続の拡大を促していきたい。



▲電子申請サービス

ICT 教育の推進とその取り組みは

乙津 豊彦 議員

質問 デジタル読解力調査で、韓国 1 位、日本 4 位だったが所見は。教職員のパソコン等利用の推進状況とホームページ活用など、学校の ICT を利用した教育への取り組みは。

教育長 パソコンを活用した効果的な指導等ができるよう、情報教育推進委員会で研修等を行うとともに、夏季休業中に、学習支援ソフトの活用やパソコンを使った授業づくり等の教員研修を充実させている。



▲パソコン授業（第一小学校5年3組）

階段幅を広げ、危険防止を——牛浜駅改修——

末次 和夫 議員

質問 駅構内の階段幅が従来よりかなり狭い設計だが、通勤等ラッシュ時の危険を考え、最低 2 m 位にできないか。エスカレーターも上下の切り替えや機種変更は可能か。

市長 JR は、エスカレーターの利用を含めた人の流れの検証で、階段幅は支障がないとの見解だが、幅の拡大要望をしていきたい。またエスカレーターの切り替えは可能だが、機種変更は厳しいので理解願いたい。



▲牛浜駅

山王橋通りの安全対策は

清水 義朋 議員

質問 国道 16 号線工事に伴うボックスカルバート工事がされており、その周辺の一つ山王橋通りは熊川の方々にとり大事な生活道路であるが、非常に狭いところもある。現状どのような安全対策がとられているのか。

市長 市街化が進んでおり、道路幅は大変厳しい状況なので、当面は危険箇所にカラー舗装、カーブミラー、イメージハンブ等の設置をして、安全対策を図っていきたい。



▲山王橋通り

スピーディーに開設された「福生街なか涼み処」の現状は

原田 剛 議員

質問 節電意識が高まる中、熱中症患者も急増し、予防対策に公共施設を開放する自治体も出てきた。当市も迅速に「福生街なか涼み処」を開設したが、その現状を伺いたい。

市長 広報を見てわざわざ来られたり、他の場所と比較されたり等、各所で 1 日平均 2 ～ 3 人が 30 ～ 40 分滞在し、節電できるのでありがたい等の声があった。提案いただき、感謝をするところである。



▲「福生街なか涼み処」案内ポスター

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18 人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は 3 種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし 4 ページから 5 ページに掲載しました。一般質問の項目は 6 ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、11 月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

若者の定住策としてハウス村を設立し、魅力的なまちづくりを

町田 成司 議員

質問 福生市独自の文化、財産であるハウスを生かして若者を誘致し、人口増を図れないか。また、ハウスの街並みが観光名所となり、観光客を呼び込めるような魅力あるまちづくりをすることを提案したい。

市長 ハウス村構想は若者世代が魅力を感じ、福生市に住んでみたいと思うまちづくりの手法として民間の行う自由な発想やアイデアであると考えている。



▲福生の「米軍ハウス」

交通安全の協力組織としての交通安全推進委員会の活動内容は

申田 金八 議員

質問 市の行事の際の交通整理や交通安全講習会など多くの活動をされているが、苦勞や問題点を理解していない市民も多いので、活動状況や協力組織の内容を伺いたい。

市長 委員数は 104 名で、今年で 24 年目を迎え、春・秋の交通安全運動をはじめ七夕まつり、さくらまつりにおける交通安全対策やさまざまな PR 活動に協力いただき、交通事故の減少に大きな成果を上げている。



▲活動中の交通安全推進委員

富士見通りの拡幅整備に向けての今後の取り組み、見通しは

柳川 英司 議員

質問 福生駅以東の重要な道路であり、商店街活性化や安全安心なまちづくりに向け取り組まなければならないが、整備に向けての今後の取り組み、見通しは。

市長 単なる道路の拡幅だけではなく魅力的な中心商業地としての整備が必要であると考えており、地元の皆さまと懇談会を行い検討し、道路拡幅については土地開発公社による用地買収を先行していきたい。



▲富士見通り

ランチと弁当の併用方式を改め、今こそ中学校給食の実施を

池田 公三 議員

質問 ランチと弁当の併用方式は食育には活用できず、就学援助家庭には重い負担となっている。小学校の給食センター建替えが予定されている今こそ中学校給食を実施すべきではないか。

教育長 ランチルーム開設までに各種検討がされ、昼食対策としての開設である。食育はさまざまな機会に指導推進している。また給食センター建替えはあくまでも小学校のものであり、検討していない。



▲第三中学校ランチルーム